

防災の心得

備蓄品・非常持出品

賞味期限などを確かめておき、定期的に更新しましょう

食料品や水(1人1日3リットル)は最低3日分用意しましょう。次の例はあくまでも参考です。家族にとって必要なものを用意しましょう。



避難情報

避難指示までに危険な場所から避難しましょう

<p>警戒レベル1</p> <p>早期注意情報(気象庁)</p> <p>最新情報に注意</p>	<p>警戒レベル2</p> <p>大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)</p> <p>避難行動を確認</p>	<p>警戒レベル3</p> <p>高齢者等避難</p> <p>避難に時間がかかる高齢者や障がいのある方などは危険な場所から避難 ※その他の方も必要に応じて避難の準備などを行う</p>	<p>警戒レベル4</p> <p>避難指示</p> <p>危険な場所から全員避難</p>	<p>警戒レベル5</p> <p>緊急安全確保</p> <p>すでに安全な避難ができず命が危険な状況。直ちに身の安全を確保 ※必ず発令されるわけではないため、発令を待たない</p>
--	---	--	--	---

ここまで必ず避難!

各種情報入手方法

災害時の情報入手や事前の備えに活用してください

●さっぽろ防災ポータル



●札幌市防災アプリ「そなえ」



●さっぽろ防災ハンドブック



「ハザードマップ」機能で土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域などを確認することができます。また、災害時には開設されている避難場所などの最新情報を入手することができます。

避難行動

避難指示までに危険な場所から避難しましょう

まず、浸水や土砂災害のハザードマップで自分の家がどこにあるか確認しましょう。

Q. 自宅がある場所に色が塗られていますか?

いいえ → **原則、避難不要です。(※)**

はい → **災害の危険があるので、原則として自宅以外に避難が必要です。**

例外もあります
 浸水の危険があっても、次の3つ全てを満たす場合は、**自宅にとどまり安全確保をすることも可能です。**

Q. 安全な場所に住んでいる親戚や知人はいますか?

はい → **安全な親戚や知人宅に避難しましょう。(日頃から相談しておきましょう)**

いいえ → **各区が開設している指定緊急避難場所に避難しましょう。**

① 洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまふ恐れの高い区域の外側である
 ② 浸水する深さよりも高いところにいる
 ③ 浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある

土砂災害の危険があっても、十分頑丈なマンション等の上層階に住んでいる場合は、**自宅にとどまり安全確保をすることも可能です。**

※色が塗られていなくても周りより低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。

各種ハザードマップ

災害に備えて自宅等がどこにあるか確認しましょう

●浸水ハザードマップ



●土砂災害避難地図(ハザードマップ)



●地震防災マップ



緊急連絡先

南区役所	☎582-2400	札幌市コールセンター	☎222-4894
南消防署	☎581-2100	FAX: 221-4894	E-mail: info4894@city.sapporo.jp
南警察署	☎552-0110	●テレホンサービス(自動案内)	●停電、電柱・電線などについて
		火事の発生場所 ☎201-0011	北海道電力(株) ☎0120-06-0342
		けが当番病院 ☎201-0099	●ガス漏れの時
		●病院を案内しているところ(歯科を除く)	北海道ガス(株) ☎792-8100
		救急医療情報案内センター ☎221-8699	プロパンガスについては最寄りの取引販売店へ
		●夜間急病のとき	●水道の夜間・休日の緊急連絡先
		内科小児科 夜間急病センター ☎641-4316	水道局電話受付センター ☎211-7770
		場所: 中央区大通西19丁目 / 時間: 午後7時から翌朝7時	
		歯科 口腔医療センター ☎511-7774	
		場所: 中央区南7条西10丁目 / 時間: 午後7時から午後11時	

災害用伝言ダイヤル

大規模な災害が発生し、安否確認等の電話により一般電話回線が混雑し、電話がかかりにくくなった場合でも、伝言の録音・再生により被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にするNTTボイスメールサービスです。

